



校長便り 第21号



記録に挑戦した 持久走大会

2月13日(金)の3・4時間目に、校内持久走大会を実施しました。インフルエンザで療養中の子どもや、体調が万全でなく見学の子どももいましたが、天候にも恵まれ、何とか大会を実施することができました。

子どもたちは、1月中旬から2時間目の休み時間や体育の時間に、「今日は、何週走る」など、目標をもって持久走の練習に取り組んできました。本番では、お家の方や全校児童の応援があるためか、転倒しても泣かずにすぐに立ち上がり力強く走る1年生や、いつもより早いペースで走る子どもの姿が多く見られました。

校長は、昨年度全レース完走することができなかったので、今年は「全レース完走」を目標に、体力と年齢のことを考えて、最後尾の子どもについて走りました。低・中学年までは、前を走る子どもを励ましながら何とか付いていきましたが、高学年になると練習の時よりも速いので置いて行かれました。何とか全レース完走できましたが、最後の1分でスピードを上げる子どもがたくさんいて、若さって素晴らしいと思いました。



子どもたちは、走り始めてから走り終えるまで、保護者の方や子どもたちからの応援がずっとあるので、走り切ることができると思います。来年も、温かい声援をよろしく願います。

ほぼ 一日参観日となりました

13日(金)は、午前中に持久走大会、午後に授業参観・学年懇談を実施しましたので、ほぼ一日参観日となりました。ご家族や保護者の方におかれましては、ご多用のなか、多数参加していただきありがとうございました。

<これからの授業は>

午後の参観授業で、4年生以上を参観された方は、これまでの授業と少し違っていただけに気付かれたと思います。先生が黒板前にずっと立って、先生が授業を進めるスタイルと違い、子どもが学習リーダーとして前に立ち、子どもたちが授業を進める(創る)場面が多く見られたと思います。来年度以降、複式学級が生まれたり、5名足らずの少人数学級が生まれたりする可能性があります。そのための準備を子どもたちと共に先生が進めているところです。問題解決する際に、自ら課題を立て、自分でor友達とor先生とorICT等を使って調べて解決し、結果をみんなで共有することにより、多様な見方・考え方や、知識・技能、コミュニケーション力などを習得していく授業を目指していくことになると思います。

これは、先生が授業を子どもに任せっきりにして、楽をするわけではありません。先生の役目は、45分の授業の中で、「子どもたちに身に付けさせるべき知識・技能や、思考・判断・表現力」を明確にし、授業の流れを見ながら、適切な指導と支援を行うこととなります。問題(課題)解決が終わったら、習熟問題を解いたり、新たな問題解決にチャレンジしたりする時間もあることでしょう。○○ちゃんじゃないですけど、子どもも先生も「ポーっと学習(授業)してんじゃねーよ！」の45分間になっていくことでしょう。

注:朝から晩まで、全ての授業がそうなるわけではありません

5年生 頑張ってます!

今年度最後の参観日が終わり、残る全校的な大きな行事は、お別れ遠足、卒業式・修了式となりました。お別れ遠足の準備は、本日の体験入学のお世話もしてくれた5年生が、計画・準備をしてくれています。次期、本校のリーダーとしての成長が目覚ましい5年生、よろしく願います。